

子実用トウモロコシの現地検討会を開催！

畜産試験場では、家畜の濃厚飼料の県産化をめざし、県産の子実用トウモロコシの実証栽培に取り組んでいます。

今回、北陸農政局と共催で、子実用トウモロコシ生産による飼料自給率向上の可能性を検討することを目的に現地検討会を開催します。

（次ページの開催要領を参照）



子実用トウモロコシ栽培実証圃場

～濃厚飼料の自給率向上に向けて～

子実用トウモロコシ生産利用に関する現地検討会 開催要領

1 目的:

農林水産省は、新たな「食料・農業・農村基本計画」及び「酪農及び肉用牛の近代化を図るための基本方針」を策定し、平成37年度までに飼料自給率を40%までに引き上げることとしたところです。このため、国産粗飼料の生産・利用の拡大や、放牧の活用及び飼料用米等国産飼料穀物の生産・利用の拡大等により、輸入飼料に依存しない足腰の強い畜産経営を確立することを推進しています。

濃厚飼料自給率の向上は、主に飼料用米やエコフィードの生産利用の拡大により取り組まれています。畜産農家からは、配合飼料の主原料となっている子実(丸粒)用トウモロコシの利用要望もあるところです。

このため、国産の子実用トウモロコシに焦点を当て、濃厚飼料増産の現状等について探るとともに、子実用トウモロコシ利用実例の紹介や、実際に試験栽培している福井県畜産試験場のほ場において、子実用トウモロコシの収穫実演を行い、濃厚飼料の自給率向上の可能性等について検討することを目的とします。

2 開催日時:

平成28年10月18日(火) 13:30～15:30(予定)

(予備日:10月19日(水):降雨により順延となった場合は、18日8:30までに連絡)

3 開催場所:

福井県畜産試験場2階会議室及び場内ほ場

(福井県坂井市三国町平山68-34)

4 議 題:

座 学

(1) 国産飼料の自給率向上について (13:35～13:55)

講師: 北陸農政局生産部畜産課長 杉中 求

(2) (仮題)子実用トウモロコシの試験栽培の状況について (13:55～14:15)

講師: 福井県畜産試験場家畜研究部長 松井 司

(3) (仮題)地域と密着した純国産飼料への挑戦 (14:15～14:35)

講師: 近畿農政局生産部畜産課課長補佐(草地)池田 真紀(予定)

実 演

(4) (仮題)子実用トウモロコシの収穫実演 (14:50～15:30)

講師: ヤンマーアグリジャパン(株)中部近畿カンパニー 松田 友仁

5 主催等:

主催:北陸農政局生産部畜産課、近畿農政局生産部畜産課、福井県畜産試験場

共催:一般社団法人日本草地畜産種子協会

協力:ヤンマーアグリジャパン(株)中部近畿カンパニー

6 参集範囲

管内各府県、普及センター、JA、生産者 等